

令和7年はみなさんにとってどんな1年でしたか？広報郡上では、イベントや叙勲、100歳のお祝いなど、多くの出来事・話題を掲載させていただきました。今月号では令和7年の郡上市の主な出来事を振り返ります。

令和7年12月5日現在

▶大和中での講演



▶優勝された旗雅典シェ  
フパティシエ（右）



①世界最高峰の洋菓子コンクールで優勝！  
（クープ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー2025）

▶白鳥の拝殿踊



▶白鳥踊



②「白鳥踊」が市重要無形民俗文化財に  
「白鳥の拝殿踊」が国重要無形民俗文化財に指定



④大阪・関西万博「岐阜県の日」で  
郡上おどりを披露



③第31回全日本スキー選手権郡上大会  
スノーボード競技

▶白鳥おどり手伝いたい



▶郡上おどりサポーターズクラブ



⑤「郡上おどり」「白鳥おどり」を  
未来へつなぐ活動

①パティスリー「コンフィチュールアッシュ（三重県）」で統括責任者を務める旗雅典シェフパティシエ（大和町出身）が、1月24日～25日にフランスで開催された洋菓子の世界大会に日本代表チームのリーダーとして出場し見事優勝されました。また10月1日には、母校の大和中学校で「夢への挑戦」実践とふるさと大和との関わりを通して」と題した講演会が行われました。

②1月28日に「白鳥踊」が市重要無形民俗文化財に、3月28日には「白鳥の拝殿踊」が国重要無形民俗文化財にそれぞれ指定されました。また7月9日の「白鳥の拝殿踊り発祥祭」では、指定を記念した行事が開催され、白鳥中学校の生徒も運営に参加しました。

③3月2日、2026ミラノ・コルティナ五輪代表選考大会でもある第31回全日本スキー選手権郡上大会スノーボード競技（ハーフパイプ）が高鷲スノーパークで開催され、日本トップレベルの選手の大技に大きな歓声が沸きました。

④6月9日～10日、大阪・関西万博「岐阜県の日」で郡上おどりが披露されました。郡上おどり保存会と八幡中学校の生徒が参加し、会場に訪れた観客も一緒に輪になって踊りを楽しんでいました。

⑤「郡上おどり」と「白鳥おどり」の運営を支援し伝統あるおどりを未来へつなぐため、新たに「郡上おどりサポーターズクラブ」と「白鳥おどり手伝いたい」が活動を開始しました。また、郡上おどりの今後100年の持続に向け、多くのみなさんからのご寄附を募る取組みも行われました。





# 令和7年 (2025) ～1年を振り返って～

▶ 渡辺大雅選手 (中央)



⑦ 第107回全国高等学校野球選手権大会でベスト4



⑥ 郡上市議会「夏休み こども議場見学会」

▶ 日本民踊ふれあいレク大会



⑨ ねりんピック岐阜2025

▶ ラグビーフットボール交流大会



▶ 会場の様子



⑧ 郡上の若い力が活躍!!「ミチトキテン」が大盛況

▶ 鹿の解体体験



▶ ミチのはじまりアート



⑩ ドローンを活用した医薬品配送訓練 (実証実験)

⑥ 次世代の担い手育成と主権者教育の一環として、市内の小中学生を対象に、郡上市で初の試みとなる「夏休み こども議場見学会」が議員の企画・運営により行われました。参加した子どもたちは、議会の仕組みや役割について楽しく学ぶとともに、郡上市に関する様々な課題について議員に質問しました。

⑦ 第107回全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園、8/5～23)において、県立岐阜商業高等学校2年渡辺大雅選手(郡南中出身)が活躍し、チームのベスト4進出に貢献されました。

⑧ 9月23日、郡上市合併記念公園で参加型マルシェ「ミチトキテン」が初めて開催されました。市内の若者たちが企画・運営するなど郡上の若い力が集結したこのイベントには、飲食やクラフト、アパレルなど約60もの出店が並び、4千人を超える来場者で賑わい、郡上の秋を彩る新しい風景となりました。

⑨ 10月18日～21日、第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねりんピック岐阜2025)が県内各地で開催され、郡上市では「日本民踊ふれあいレク大会」と「ラグビーフットボール交流大会」が行われました。大会運営ボランティア「郡上市おもてなし戦隊ねりんジャー」や市内の学校等にご協力いただき、郡上市ならではのおもてなしがあふれる大会になりました。

⑩ ピノキオ商事株式会社と市が連携して、市内でドローンを活用した医薬品配送訓練を行いました。豪雪・土砂崩れなどによる交通網の寸断時に、ドローンを活用した空輸による山間部の長距離配送を想定しています。